

ご意見をお願いします。

9月28日の幹事会で二〇一〇年自治体要望書討議案をまとめました。各組合の討議を経て10月の幹事会で確定し、11月に八戸市に提出する予定です。

要望事項は次の通りです。ご意見は、10月25日までに地労連へ☎・FAX 47-8886。

雇用・賃金等の問題について

①雇用の創出・確保、完全雇用の実現に向け、自治体独自の対策を講じてください。また、新規学卒者、中高年齢者の雇用の維持・確保のための市独自の制度・方策についてお知

らせ下さい。

②公契約の労務費は時給千円以上の単価としてください。公契約の対象事業所にこの額を下回らないよう指導してください。

③労働行政の縮小をやめさせ、公共職業安定所・労働基準監督署などの職員増員を関係機関に働きかけてください。市民生活について

④「地域主権改革」の名のもとに国の責任を放棄する出先機関の統廃合等によって行政サービスを低下させることがないよう国に働きかけて下さい。

⑤県南地域の救急医療維持・充実のためにドクターヘリを増やすよう県に強く求めて下さい。

⑥地域医療を守るために、労災病院の休診料の復活と医師の確保について、厚労省に強く働きかけて下さい。

⑦国立病院と自治体病院統合の動きがあると聞いています。難病治療など政策医療を担う国立病院の単体での存続を求めて下さい。

三八地労連秋のレク

日時	10月17日(日)
行先	おおのキャンパス
会費	1000円(児童500円)
集合	9時・三八教育会館
内容	①パークゴルフ ②バーベキュー

※おにぎり1個とお茶つき
※小雨決行

⑧子宮頸がんワクチンの公的接種を行うよう国に求めて下さい。また、それまでは市としての接種助成を実施して下さい。

⑨肺炎球菌ワクチンの接種助成を65歳からにして下さい。

⑩高齢者にとって大きな障害となっている後期高齢者医療制度を直ちに廃止するよう国に働きかけて下さい。

⑪後期高齢者の健診項目について、眼底・眼圧、聴力、心電図検査も実施して下さい。

⑫高齢者団体の公民館使用料を無料にして下さい。

て下さい。
a 応益(定率)負担の廃止。また、食費などの実費負担を廃止し、十分な所得保障を実現することとあわせて、利用者負担全体のあり方について抜本的に改めること。とりわけ、住民税非課税世帯からの利用料徴収は早急にやめること。

b 障害程度区分を見直すこと。区分は生活困難度並びに生活支援のニーズ把握を第一義にした内容に改めること。

⑮事故・トラブルが続いている六ヶ所村再処理工場の本格操業に反対し、稼働中止を日本原燃に申し入れてください。

⑯子供たちが使い慣れていて、しかも下肢をけがした際などにも利用できるように、小・中学校のすべてのトイレに最

低でも一ヶ所は洋式便器を設置して下さい。すべてのトイレに洋式便器が設置されていない学校の状況や今後の設置予定などを教えて下さい。

⑰八戸地区の私立高校だけで行われている入学金の先取りをやめ、県立高校の後期合格発表後に納付できるように、私立高校に働きかけて下さい。

⑱「あおもりっ子育みプラン21」の継続・拡充を県教委に働きかけてください。国の責任で30人以下学級を実現するよう国に働きかけてください。

⑲教育水準を維持するために、義務教育費国庫負担制度の堅持を国に働きかけて下さい。

⑳八戸市における基地関連予算の交付金とその使途について内容をお知らせください。

三八地労連

ニュース

三八地方労働組合総連合
発行●2010年10月4日
・第113号●八戸市柏崎
1-10-34 対馬治療院2階
☎・Fax 0178-47-8886


生存権裁判支援する会がレク

青森生存権裁判を支援する会は9月26日、平内町夜越山で恒例のバーベキューレクを行いました。4人の原告と県内各地から70人を超える会員が参加して楽しく交流、八戸からも22人が参加しました。

支援する会副会長の小浜秀雄さんが、生存権裁判は朝日茂さんの人間裁判を受けつぎ発展させる歴史的な意義を持つ大切な闘いだ、勝訴の展望が見える今、会の運動をいっそう広げていこうとあいさつしました。

青空の下、焼肉やホタテやイカ、味噌焼きおにぎりなどに舌鼓を打ち、おしゃべりとうたごえに興じていました。

平内の赤とんぼ→



東北ブロック原水協学校と 三沢基地平和学習会を開催

9月18日、上北町駅前の旅館松園で、恒例の三沢平和学習会が青森県平和委員会主催で開催されました。今年は、東北ブロック原水協学校を兼ねての開催だったので、青森県以外からも20人程度参加、全体では60人を超える参加者で講演の際は大広間にびっしりでした。

三沢基地フィールドワークに38人、原水協運動交流会には15人が参加しました。

原水協運動の交流では、司



会をつとめた秋田県原水協事務局長の渡部雅子さんが最初に、私たちが取り組んでNPT再検討会議に提出された690万の署名(日本からはあわせて1600万の署名が提出された)と運動が「核兵器のない世界を」めざす一致を導き会議で最終文書が採択できたこと、中東非核化の方向への歩みが始まったこと、一方で日本政府は核兵器廃絶をめざす世界の流れに完全に乗り遅れていたこと、日本原水協の国際的な地位の高まっていること等を報告し、草の根の運動を強めていくことが私たちの課題ではないかと報告しました。

各県で取り組んだ「核兵器のない世界を」国際署名やNPT再検討会議ニューヨーク行動への代表派遣、原水爆禁止世界大会への代表派遣活動など、各地のさまざまな経験が話されました。やはり地域が異なる運動の取り組み方、すすめ方が違うのでお互いに参考になったと思います。青年の生き生きとした活動も特徴的で、各県から報告

署名のお願い

- ①教育全国署名
11月19日まで
- ②老齢加算の復活
12月末まで
- ③核兵器のない世界を
継続して取り組み中



されました。市庁前に植樹した被爆アオギリに、8月6日、市長さんたちが祈りを捧げる姿があり感動した、横手市では非核平和都市宣言を起草するための検討委員会に地労連や新婦人なども参加している、欠かさずに行ってきた6・9行動が70回を超えたー青森市、朝市やコープ店での署名ー八戸、各地の平和行進の様子などが報告されました。

講演の齊藤光政氏・東奥日報編集委員は、「青森県の軍事基地と三沢米軍基地の実態」と題しての講演でした。三沢は、世界最高レベルの戦闘爆撃機を80機もかかえている(ミサイルサイトなどを精密爆撃することのできる特殊攻撃部隊F16が40機ー米軍、F16を改良したF2が40機ー航空自衛隊)出撃基地だ。車力にXバンドレーダーがあり三沢のJTAGSと連動している、むつ市釜臥山には自衛隊

のFPS-5(通称ガメラレーダー)が来年度完成予定だ。これらはミサイル防衛システムの一環だ。憲法を否定する「集団的自衛権」行使の体制がつくられていて、武器の共同開発で武器輸出3原則も形骸化されようとしている。米軍は、すでに安保条約の極東条項から大きく逸脱した行動をとっていること等を具体的に解き明かし、参加者から「おそろしい実態を初めて知った」などの感想が寄せられました。

今後の日程

- 10月15日 年金者一揆
- 10月17日 地労連レク
- 10月25日 消費税署名・街宣
- 10月27日 年金者組合レク
- 地労連幹事会④
- 11月2日 社保協キャラバン
- 11月3日 はちのへ九条の会 DVD講演会
- 11月5日 社保協キャラバン
- 11月6日 6・9行動
- 11月20日 教育講演会
- 11月23日 「赤貧洗うがごときー田中正造と野に叫ぶ人々」上映会

※要望書の説明※

・地域主権改革
ハローワークや地方整備局の

廃止、一括交付金化による社会保障や文教予算削減の危険性が大きく、地域住民のための「改革」ではありません。

肺炎球菌ワクチン

八戸市では、今年7月から75歳以上の人に1回だけ接種助成を行っています。効果は5年位で再接種も可能になったので、接種を希望する65歳以上の高齢者への助成を要望します。

子宮頸がんワクチン

子宮頸がんの原因として最も多く報告されているHPV16型と18型の感染を防ぐワクチンで、海外ではすでに100カ国以上で使用されています。日本では昨年12月から一般の医療機関で接種することができるようになりました。3回の接種で、発がん性HPVの感染から長期にわたってからだを守る事が可能です。

六ヶ所村再処理工場

ガラス固化溶解炉のアクティブ試験は10月の完了予定を2年間延期しました。自民族対策で完全に行き詰まっています。ガラス固化の見込みはなく大量の放射能をばらまき、多額の税金・電気料金を浪費する六ヶ所再処理工場を動かすのはやめるべきです。